

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 徳島県立ひのみね支援学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒773-0015

徳島県小松島市中田町新開4-1

E-mail hinomine_ss_3@mt.tokushima-ec.ed.jp

Website http://hinomine-ss.tokushima-ec.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 26 名 女子 25 名 合計 51 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 18 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「私たちの未来、地球の未来のため、環境に優しい学校づくりに取り組みます～私たちができることをしっかり考えて、実践します～」という活動目標のもとに学校全体で環境保全に関する活動を中心に取り組んでいる。

具体的には、「私たちができること」を柱に、①省エネや資源の有効利用に係わる活動、②ペットボトルのキャップ集めに係わる活動、③環境美化に係わる活動、④平和の折りづるに係わる活動を行った。

① 省エネや資源の有効利用に係わる活動

「節電・節水・教室美化」について、各教室でチェックカードにチェックをして月末に各学部の達成率を報告している。電気のスイッチや水道の蛇口付近に「電気を大切に使いましょう」、「水を大切に使いましょう」と呼びかける児童生徒が作成したポスターを掲示し啓発している。また、コピー用紙の裏面利用促進のため、リサイクルスタンプを作成。デザインを校内で募集し、投票により原案を決定、発注。完成したスタンプをまだ使用できるコピー用紙に押し、再利用の紙であることと資源の有効利用をアピールしている。

② ペットボトルのキャップ集めに係わる活動

年度初めに保護者宛に、ペットボトルキャップを集めてワクチン支援を行うことをお知らせし、校内では教職員へも周知。病棟から登校している生徒の中には病棟職員へ呼びかけ回収の協力をしてくれている生徒もおり、学校外へも広がりつつある。

③ 環境美化・環境整備に係わる活動

校外の活動としては、学校周辺のごみ拾いを行い、地域の環境美化に努めている。児童生徒の体調に合わせ、季候の良いときに実施し、活動の様子をホームページや校内掲示板でお知らせしている。保護者の方も日を決めて集まり、清掃活動を行っている。校内の活動としては、隣接するみなと高等学園の生徒さんに教えていただきながら、季節の花の植栽活動を一緒に行っている。色とりどりの花が中庭を美しく彩っている。

④ 平和の折りづるに係わる活動

ユネスコスクールの兵庫県立北須磨高等学校の折りづる協力の呼びかけに応じ、私たちの未来のため、「私たちにできる」ことに取り組んだ。折り紙が得意な生徒を中心に、部分的に鶴が折れる児童生徒が集まり、協力して折りづるを完成させた。保護者、教職員もたくさん協力してくださり、ユタ州へは千羽を届けることができた。日ごろ、平和のことを考えて過ごすことは少ないが、児童生徒、保護者、教職員が平和について考える、良い機会となった。



① 校内募集で集まったデザインを展示



① 完成したリサイクルスタンプ



① 教室を出るとき、電気は消したかな



② 集めたキャップはここに入れてね



③ ごみを拾って、きれいな街に



④ みんなで鶴をたくさん折ったよ

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2、2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(委員会活動)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・ウェブサイト（ユネスコスクール公式HP）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2、 1-3 に対応

児童会活動、生徒会活動における委員会活動にユネスコ委員会を設置している。今年度はユネスコ委員会が主催となり、リサイクルスタンプのデザイン募集や、書きそんじハガキの回収活動を実施した。

また、学級活動の時間に、いくつかのクラスが合同で地域清掃を実施している。

指導内容、指導方法については、「無理なく児童生徒が参加できる」という視点で活動内容を考えている。「ごみ取り棒」や身体の一部を使ったデザイン画等、具体的な工夫は児童生徒の実態に応じた方法で担任の先生のアイデアで実施されている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間2回の推進委員会（管理職、事務部、各学部担当で構成）を設け、そこで決定した内容や改善点などを受けて、小学部、中学部、高等部の各学部に伝達し児童生徒の実態にあった活動ができるように取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

徳島県教育委員会で行われている環境保全活動に関する内部評価のチェックリストを使用し、推進委員会において評価をいただいている。外部からの評価については、学校評議委員会においてご意見をいただいている。

児童生徒の実態から、積極的な活動への参加に難しい部分があったが、今年度については折りづるを作ったり、作品募集や投票をしてもらったりすることで、参加できることが増えたと考えられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

特別支援学校 ESD フォーラムに参加させていただき、本校の活動内容について他府県のユネスコスクールへ知ってもらうことができた。

また、学校ホームページで活動の紹介や、年間 2 回のお便りで活動の紹介ができるよう、全校児童生徒の保護者へ配付している。

今年度はじめて文化祭で取り組みの紹介など展示をして、広く発信することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

・徳島ユネスコ協会主催の会に参加をして、県内の活動情報を得ることができた。また鳴門教育大学の近森先生によるお話を聞かせていただいた。
・ESD コンソーシアム愛知が主催するフォーラムにおいて、ユネスコスクールに登録している特別支援学校の取り組みを知ることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

国内においては兵庫県立北須磨高等学校がユネスコスクールのホームページで呼びかけていた折り鶴の活動に参加をさせていただき、本校児童生徒や保護者、教職員が「私たちにできること」に取り組むことができた。

国外については、交流する機会が持てていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

折り鶴の呼びかけを行ったところ、数名の児童生徒が声を掛け合って、折り鶴の制作過程で自分のできるところを分担し、協力してたくさん折ってきてくれた。折り鶴は今年度初めての取り組みであったが、積極的に活動へ参加し、自分たちができるところを生かして活動することができた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

児童生徒が無理なく参加でき、継続して実施できる活動を計画していきたい。これまで継続的に取り組んでいる活動として、

- ・ゴミ拾いによる地域清掃
- ・各教室における節電・節水・環境美化のチェック
- ・校内の環境整備（隣接するみなと高等学園との合同植栽活動も含む）
- ・紙のリサイクル推進
- ・ペットボトルキャップの回収

などがあげられる。

そして、今年度初めて実施した

- ・平和の折り鶴
- ・書き損じハガキの回収

も継続したい。

来年度新たに、キャップ回収ボックスへ貼付するPRポスターを募集することで児童生徒の参加する機会を設けたいと計画している。